



### 四国銀行「学び応援債」の一環で、株式会社パシフィックシステムさんから寄贈いただきました



四国銀行の「学び応援債」の一環で、株式会社「パシフィックシステム」さんから、「防滴型ワイヤレスランプ」を寄贈いただきました。すでに今年度の運動会や、音楽の授業で活用させていただいておりましたが、11月8日に校長室にて寄贈式が行われましたので、ご報告させていただきます。

今回寄贈いただきました株式会社 パシフィックシステムの代表取締役 小松広行さんは、中村小学校の卒業生だということです。大変高価なものを母校に寄贈いただき、本当にありがとうございました。今後も様々な場面で大切に活用させていただきます。

### 「ふわふわ言葉」と「チクチク言葉」

人は誰もがかけがえのない存在です。理由もなく他人から嫌なことをされたり、傷つけられたりすることは、あってはならないことです。学校では、低学年を中心に、相手がうれしくなる言葉を「ふわふわ言葉」、とげとげしい乱暴な言葉を「ちくちく言葉」という言い方で言葉づかいについて指導しています。言葉は、人と人をつなぐ大切な道具です。ちょっとした言葉に人は傷つき、何気ない言葉に勇気づけられ、幸せな気持ちになるものです。子どもたちの生活の中では、「ありがとう」「ごめんね」「大丈夫?」「おはよう」「またね」「一緒に遊ぼう」などの言われてうれしい言葉がたくさん聞かれる反面、耳を疑うような非常に傷つく言葉を使っている場面も見られ、その都度指導しています。テレビ番組やアクション・バイオレンス系のネットゲームの中で「死ね」「消えろ」等の言葉が飛び交ってもいるようです。言葉づかいは、模倣と繰り返しによって築かれていくものです。学校だけでなく地域の皆さんで気を付け合うことが、思いやりのある人間関係をつくる上で大切なことだと考えます。今一度日常生活の中に「チクチク言葉」はないか、家庭でも見直していただき、反対に「大丈夫?」等のふわふわ言葉がいっぱいになるようにご協力をお願いします。子どもの現在、未来のためです。